

阿蘇市消防団新体制スタート

24分団から12分団に！

消防団の分団規模の均一化、部制の導入に伴い消防組織の再編成を行いました。今年度から、阿蘇市消防団は12分団28部になります（これまでは24分団14部）。



岩下二夫団長

新入団員55人、新団長岩下二夫らに辞令交付

平成19年度阿蘇市消防団辞令交付式が、4月1日、一の宮体育館で開催されました。新団長に、湯浅正司氏に代わり、岩下二夫氏が任命された他、副分団長以下幹部に、また、新入団員に辞令が交付されました。これに続き、新入団55人を代表し、第10分団の山本剛宏さんが新入団員宣誓を行い、市長挨拶、団長訓示で式を終えました。阿蘇市消防団は、今年度、総団員数834人の体制で取り組みます。

階級	氏名	出身
団長	岩下 二夫	一の宮
副団長	渡邊 良作	一の宮
副団長	古澤志喜男	波野
副団長	成田 一秋	阿蘇

分団名	分団長名	区 域
第1分団	蔵原 和久	町1区・町2区・北1区・北2区・塩塚
第2分団	井手 孝義	東1区・東2区・東3区・西1区・西2区・西3区・古神1区・古神2区・古神3区・分1区・分2区・分3区
第3分団	佐藤 富士男	古閑・神石・福岡・上町・東仲町・西仲町・下町・桜町・福原・馬場・豆札
第4分団	甲斐 芳文	古城1区・古城2区・古城3の1区・古城3の2区・古城4区・古城5の1区・古城5の2区・古城6区・古城7区
第5分団	岩下 純男	原口・上井手・下井手・中原・西井手・上西河原・下西河原・上東下原・下東下原・西下原・片隅・荻の草・舞谷
第6分団	後藤 二夫	榎木野・赤仁田・立塚・横堀・遊雀・中道・山崎・仁田水・中江・滝水
第7分団	岩下 道幸	小園・小地野・笹倉・坂の上・大道
第8分団	岩永 啓三	鷲の石・原の口・山田・小倉・西小倉・小池・黒流町・今町・下の原・新村・小野田町・本村・茗ヶ原
第9分団	伊藤 照行	道尻・下役犬原・上役犬原・西町・竹原・蔵原・東黒川・坊中・南黒川・元黒川・北黒川・上西黒川・下西黒川・乙姫・黒川千丁
第10分団	村上 一秀	永草・枳・赤水・車帰
第11分団	中村 浩文	狩尾1区・狩尾2区・狩尾3区・跡ヶ瀬・的石
第12分団	高宮 隆博	内牧1区・内牧2区・内牧3区・内牧4区・内牧5区・成川・小里・南宮原・湯浦・西湯浦・深葉・西小園・折戸・宇土・浜川



市民みんなでニュースポーツ！

阿蘇に最適のパークゴルフ大好評



第2回阿蘇市民スポレクフェアが、3月18日、簡易保険保養センター(かんぼの宿)で開催されました。大会は、市民の親睦とニュースポーツの普及を目的とし、今回は、ゴルフのルールで大きいボールとクラブを使用し気軽に楽しめる「パークゴルフ競技」を実施しました。約120人の参加者は、一打一打穴を目掛け真剣に玉を打ち、外れても入っても歓声を上げ、楽しいひとときを過ごしました。

＜パークゴルフ競技結果＞ 男子の部 1位 森本恒至(小里) 2位 丸山武重(波野) 3位 猪島一明(今町)
女子の部 1位 渡邊チカ子(黒川) 2位 田島ムネ子(黒川) 3位 稲實チズヨ(宮地)



▲ご本人にかわり伝達を受けた白石氏のご長男(元興さん)左、同じく松岡氏の夫人(シオリさん)右

㊦白石義美氏、㊦松岡久氏に旭日単光章(叙勲)

議員として地方自治に貢献

3月27日、いずれも昨年12月亡くなられた白石義美氏(手野、81歳)、松岡久氏(笹倉、80歳)への叙勲伝達式が市役所で行われ、佐藤市長より勲章と賞状がそれぞれの遺族に手渡されました。

白石氏は、昭和54年4月一の宮町議会議員に初当選。以来、3期12年にわたり在職し、経済建設常任委員会委員長、高齢者センター建設特別委員会副委員長などを歴任し、町づくりや地方自治に大きく貢献されました。

松岡氏は、昭和38年4月波野村議員に初当選。その後4期16年間議員に在職し、昭和58年には議長に就任。また、農業委員会会長を務めるなど、波野村の産業・文化の振興に大変尽力されました。

男女共同参画社会目指しセミナー実施

阿蘇市女性団体連絡協議会

2月24日、一の宮就業改善センターで、阿蘇市女性団体連絡協議会(神保京子会長)主催の第2回セミナーが開催されました。今回のセミナーは「一人ひとりが輝く男女共同参画社会をめざして」をテーマに舞台女優・演技指導者の木内里美さんと劇団きららの上田依里子さんが「二人芝居」を公演。タバコ屋のばあちゃんに扮した木内さんが高齢者の問題など世情を痛快に説き、参加者を楽しませました。

阿蘇市女性団体連絡協議会は、平成17年11月、婦人会や商工会、農協女性部など各種女性団体の連携を目的に設立。市で最も大きな女性の組織として今後も活躍が期待されます。



▲3月5日、阿蘇警察署で行われた表彰式の様子(左から宮崎さん、榎木野さん、市原さん)



▲JR宮地駅前交差点

いじめ防止標語を横断幕・看板に!

阿蘇ロータリークラブが啓発活動



阿蘇ロータリークラブ(中野慎一郎会長ほか27人)は、阿蘇市と産山村の小・中・高校生を対象にいじめに関する標語を募集し、その作品を横断幕などを使って啓発する取り組みを行いました。今回子どもたちから寄せられた標語数は3,397通で、審査の結果選ばれた上位3作品を横断幕にしてJR宮地駅などに設置しました。また、各学校の優秀作品は看板にして学校内に設置、さらに応募した全員に標語入りシャープペンシルを配り、広くいじめ防止を呼びかけました。

一席 『みてみぬふり そんなあなたも いじめてる』
山田小6年 宮崎 理小さん

二席 『いじめゼロ 阿蘇の大地に 咲く笑顔』
波野小6年 榎木野 芳実さん

三席 『やめよう 自分がされて いやなこと』
古城小6年 市原 優季さん

熊本県野菜振興協会表彰

阿蘇市から西村さんご夫妻とJA阿蘇中部トマト部会が受賞

■熊本県野菜経営コンクール優賞を受賞 ～西村北支さん・トメ子さんご夫婦～

西村さんご夫婦は、会社を退職後、8年前にアスパラガスを導入。「栽培施設の集約化と省力化」を基本に、作業員の雇用も取り入れ計画的に規模拡大を図り、ゆとりある生産性の高い経営を実践されています。

栽培ハウスは自宅周辺に集約化し、資材費をかけず、低コストな単棟ハウスを活用すると共に、栽培面では、堆肥の投入による土づくりを基本として、灌水装置を自動化することによりこまめな灌水や追肥の実施、早めの整枝作業等タイミングを逃さず、常に「草勢」コントロールを図ることにより、地域でトップクラスの高収量を実現されています。

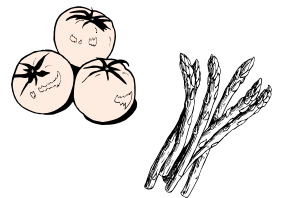


▲西村さんご夫妻(左から3番目)とトマト部会の皆さん

■熊本県野菜園芸功労団体表彰

～阿蘇農業協同組合中部トマト部会(山本誠也会長、他149人)～

阿蘇地区のトマト栽培は、昭和40年代露地栽培から始まり、昭和50年代後半、雨よけ施設が導入されると同時に面積が増え、西日本一の夏秋産地までに拡充しました。しかし、平成になり農産物の価格低迷、生産者の高齢化・気象災害の影響を受け栽培面積が減少しました。このことから、旧一の宮町・旧阿蘇町の2箇所の選果場を一本化することで、ロットの拡大、市場集約等の有利販売を目的に、平成16年4月阿蘇農業協同組合中部トマト部会が発足、一元集荷が実現しました。現在、部会全戸がエコファーマーを取得し、減化学肥料・減農薬栽培を行い、安全で安心な信頼されるトマトづくりに取り組んでいます。また、現地検討会、各種研修事業等も意欲的に実施されています。



▲絵画

◀波野中同窓会の方や市長、生徒会長などが中庭でヤブツバキを背景に記念撮影

波野中学校新校舎を記念して

波野中同窓会が記念植樹

3月1日、波野中同窓会(飛田祖久美会長)がヤブツバキを学校に寄贈、玄関から入るとガラス越しに見える中庭に植樹しました。また、同中の卒業生で県美術協会の工藤友治さん(72歳)が、波野中学校裏山から見た根子岳や高岳を描いた自作の絵画「創立当時の通学路」を寄贈しました。

SLあそBOYのナンバープレートを複製

思い出のJR宮地駅に寄贈

熊本市内にお住まいの守田修一さん(58歳)が、本物の同じ素材の砲金で同じサイズのSLあそBOYのナンバープレートを複製し、JR宮地駅に寄贈しました。また、駅の依頼でプレートをはめる木枠を阿蘇清峰高校林業・農業土木科の野田秀治さん他5人が製作し、完成した作品を3月18日、駅構内に飾り付けました。守田さんは一昨年重い病で阿蘇市の妹さん宅に静養。その際、見かけた17年間の運行終了日を前に懸命に走るあそBOY姿(老体でディーゼル車に後押しされながらも頑張る姿)に励まされ今回の製作に至りました。この思いに阿蘇清峰高校の生徒も応え、双方の心のこもった力作が駅舎を飾っています。



▲後ろ正面がプレート
前列左から2人目が守田さん

春の選抜高校野球大会で健闘！

地元出身、熊工の吉岡清伸選手

先に開催された春の甲子園「第79回選抜高校野球大会」で、一の宮中出身で熊本工業高校3年の吉岡清伸選手が出場し、2回戦で、逆転の火蓋を切る同点打を放つなどチームの勝利に大きく貢献しました。今大会、熊工は準決勝まで進出。その熱闘ぶりは県民に感動を与えてくれました。吉岡選手も小学生の頃から一の宮マリンズ、一の宮中学でと、日々人一倍練習を重ね、熊工でも打撃の要となっています。

「今大会での経験を活かし夏の甲子園目指しさらに練習します！」と次への意気込みも熱い吉岡選手でした。



▲日吉教育長と握手をかわす吉岡選手

レスリング九州大会で優勝

榎木野宏晃選手 個人・団体ともV



第42回全九州高校レスリング新人選手権が3月10日から玉名市で開催され、玉名工業3年の榎木野宏晃選手(波野小・一の宮中出身)が、個人戦(フリースタイル96kg級)・団体戦(84kg級で出場)とも優勝という快挙を成し遂げました。その後の全国大会では、前回個人戦2位ということで期待されましたが、惜しくも上位入賞ならず。しかし高校総体ももう目の前、がんばれ榎木野選手！

阿蘇の草原を未来へ 阿蘇の草原を子どもたちへ引き継ぐ

草原再生に取り組む協議会の構想固まる

豊かな自然環境を有する阿蘇の草原を後世にも残していきたいと、阿蘇の草原を保全する活動が阿蘇地域のいたるところで行われてきています。これらの阿蘇の草原を保全するために活動している団体・個人が草原について協議する第4回阿蘇草原再生協議会が3月7日、阿蘇いこいの村で開催されました。この協議会は各団体・個人が連携して阿蘇の草原環境の保全に本格的に取り組むことを目的に平成17年に発足しました。現在、19個人、47団体・法人で活動しています。今回の協議会では、阿蘇草原再生の取り組みの方向性や目指す目標を定めた「阿蘇草原再生全体構想」を策定しました。今後はこの全体構想を基に協議会委員たちが阿蘇の草原再生の取り組みをより活発に行っていきます。詳しくは阿蘇草原再生協議会のホームページ(<http://www.aso-sougen.com/>)をご覧ください。



子どもたちがお茶を点てておもてなし

茶道子ども教室お茶会

3月10日、りんどう保育園横のすくすくハウスで茶道子ども教室お茶会が行われました。主催の茶道子ども教室実行委員会(代表 小代もと子氏、他4名)は、日本の伝統文化の継承や土曜日の有意義な活動のために、昨年7月に文化庁から委嘱をうけて毎月第2・4土曜日に茶道教室を実施。今回はその生徒たち(宮地小と中通小の希望者)が宮地小校長先生や保護者の方などに対し、緊張しながらもお茶を点てておもてなしました。

◀保護者の方々も「子どもが点ててくれたお茶だけに一段とおいしいです」と満足そうでした。

見事に浮かんだ『大火文字焼き』に歓声！

「阿蘇の火まつり」3万人の人出で賑わう

今年で23回目を数えた火の祭典「阿蘇の火まつり」が3月から4月中、郡内数ヶ所の会場で開催され県内外の観光客で賑わっています。

市内で行われた催しは、阿蘇神社農耕神事の一つ火振り神事、総合センター特設ステージでのイベントショー、大火文字焼き、花火、神楽とそば手打ち体験交流(道の駅波野)などで、いずれも天候が心配されましたが、皆さんの協力で無事開催。特に、往生岳と本塚に数日前から設営されていた火文字は大人気で、山に火が灯り、やがてくっきり浮かび上がると、『炎』の文字にも見え、人々から歓声が上がりました。



▲縦横350メートル、日本一の大きさを誇る火文字



▲火文字設営のもよう。商工会や実行委員会など130人のボランティア作業員が、一日がかりで設営にあたりました。



イベントショー(阿蘇っ子伝統芸能、阿蘇まるごとクイズ、コンサート、物産直売所など)。



阿蘇へ来たら「あか牛」を食べて帰ろう！

料理店が連携してアピール

阿蘇地域農業振興協議会畜産部会主催・熊本県後援の「阿蘇あか牛肉料理認定店」に新たに3店舗が加盟し、その認定式と全体の研修会が、3月15日、JA一の宮中央支所で開催されました。これで加盟店数は阿蘇郡内34店(阿蘇市内11店)になりました。「阿蘇あか牛肉料理認定店」とは、“阿蘇地域で誕生から肥育まで全期間飼養され、阿蘇産の飼料で育ち阿蘇で放牧された牛”を使用し、あか牛の普及活動に協力する店舗。「阿蘇へ来たらあか牛を食べて帰りたい」という意識が定着するように、調理工夫やもてなしを一層心がけたいと皆さん意欲的です。加盟店など詳しくは阿蘇地域振興局のホームページ(※)をご覧ください。



▲新しい加盟店店長と関係者の皆さん

(※) http://www.pref.kumamoto.jp/shinkoukyoku/asoshinkou_hp/

宮地小学校6年生が卒業記念として

お花をプレゼント

宮地小学校6年生一同が卒業記念として、社会科見学や学習会でお世話になった方や施設などにお花を提供しました。3月19日は市役所に訪れ、サクラソウやパンジーなどのかわいいお花を提供してくれました。宮地小6年一同は、このほかにもポイ捨て禁止の看板の設置やごみ拾いも併せて行っています。





▶日本の伝統「刺し子」の柄をミシンの縫い目ほっぴで表現した法被と手まり



ホームソーイング全国大会で最優秀賞

熊本県で初めて経済産業大臣賞受賞

学生を対象にしたミシン縫いの全国大会「第27回ホームソーイング作品コンクール」小物・インテリア部で、二宮麻衣子さん（尚綱高校2年、内牧4区出身）の作品が見事、1位の最優秀賞に輝きました。表彰式は東京都で行われ、表彰状と副賞としてコンピューターミシンが贈られました。二宮さんは、小学生からミシンに興味を持ち、お母さんの指導で技術を身に付けてきました。4年前にこのコンクールを知り応募を始め、優秀賞2回連続受賞など毎回入賞を果たす二宮さん。今回の作品は、柄をミシン縫いした2種類の「法被」。審査員に大変高度な技術と評価されました。

スポーツ大会が続々開催

県内外の選手ら集う

春のスポーツシーズン到来！大会主催者など関係者のご尽力で数々の大会誘致が実現できています。第16回大阿蘇旗少女バレーボール大会（2/25阿蘇市バレーボール協会主催）では、県内外から小学生28チームが参加。第9回全九州大阿蘇旗争奪中学生女子バレーボール大会（3/10・11郡市バレーボール協会主催）は26チームが参加。全国から80校が参加した大阿蘇旗高校剣道練成大会（3/24・25実行委員会主催）では延べ2,000人が宿泊。第11回全国高校日本拳法選抜大会（3/29・30実行委員会主催）も全国からの選手が阿蘇市で戦い、涙と汗光る貴重な思い出を胸にしました。



▲大阿蘇旗少女バレーボール大会開会式

阿蘇たかなと大自然を満喫

今年は韓国からも祭りに参加

第15回阿蘇たかな祭りが3月25日、内牧温泉街周辺の畑で行われました。このイベントは、細身でピリッとした辛さが特有の阿蘇たかなを全国に広めようと、4Hクラブやふれあいの里、来夢倶楽部（地域グループ）、阿蘇町農産加工部会などが毎年行うもので、雄大な外輪山を眺めながら、たかな折りや漬け方が楽しめます。今年も多くの参加がある中、韓国の漬物組合も来場。阿蘇たかなの美味しさは本場韓国まで伝わっているようです。作業後は、白和えやだご汁を味わいながら地元のたかな漬名人たちと会話が盛り上がりました。



おひなさま展を開催

みやび+1が憩いの場を創出

2月27日から3月3日の間、仲町通りの池田さん宅（元花屋）で、みやび+1（森下幸美代表、他17人）が第8回おひなさま展を開催しました。会員や地元の方から昔の雛人形や現代の雛人形、掛け軸など多くのお宝をお借りし展示。憩いの場として、地域の子どもたちを喜ばせていました。また、韓国や埼玉県など遠くからの観光客も訪れていました。

5月にも端午の節句展を開催する予定です。ぜひお立ち寄りください。



地域おこし団体『T o m a っとベリーな街』の活動

“あなたならどっち?! ヘルシー内牧温泉あか牛それとも大豆(畑の肉)の巻”



阿蘇の特産物「あか牛」と「大豆」を内牧温泉街とともに宣伝するために、地域おこし団体『T o m a っとベリーな街』が“あなたならどっち?! ヘルシー内牧温泉あか牛それとも大豆(畑の肉)の巻”を4月から6月30日まで開催します。開催に先がけ、3月30日、T o m a っとベリーな街参加店舗が集まり、開催期間中提供するそれぞれの自慢の逸品を店主がアピールするオープニングセレモニーが行われました。



● 6月30日までこのような逸品が提供されます。ぜひ内牧温泉街へ立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



▲「T o m a っとベリーな街」実行委員会の皆さん

ボランティア活動ありがとうございました！

＜阿蘇高校の生徒の皆さん＞

☆自主的に地域のゴミ拾い☆

阿蘇高校の生徒会メンバーが、全校生徒に「L e t ' s 清掃ボランティア」と題した地域の奉仕活動と呼びかけたところ、これに100人を超える生徒たちが手をあげ、2月26日放課後、第1回目の活動が実施されました。生徒会長の春山美里さんは「こんなにたくさんの生徒が協力してくれるとは思わなかった、この気持ちを大切にしたい。継続が大事。」と今後も毎週水曜日に清掃活動を行っていくそうです。(なお、作業に阿蘇法人会の寄付による清掃道具が大いに役立っています。)



＜内牧案内人協会の皆さん＞

☆桜のテングス病の駆除作業☆

内牧案内人協会(井野貴志子さんほか10人)が、2月末、阿蘇体育館横の町道の桜25本のテングス病の除去作業に汗を流されました。会は、内牧の見所を観光客に紹介するボランティア活動を行っており、この桜並木も黒川堤防に続く桜の名所として大切にしています。トラック2台分の枝打ちにより今年もそして来年からも美しい花を見ることができます。

